



## 山梨県

## JAフルーツ山梨 かのいわ中央共選所モモ出荷部会

生産

販売

### 多品種導入と共選所の統一などによる 品質の高位平準化で、**所得32%アップ**



JAフルーツ山梨（山梨市、甲州市、笛吹市（春日居地区））は、**生産拡大**に向けた有望品種の早期産地化による地域ブランドの確立や多品種導入による長期安定出荷、**販売拡大**に向けた共選所統一による市場ニーズの確実な対応や果実品質の高位平準化など、さまざまな取り組みを実践しています。

その結果、かのいわ中央共選所モモ出荷部会の1戸当たりの所得は、2018年度に368.7万円となり、2016年度に比べ89万円、**31.9%の増加を実現**しました。

#### 【JAの具体的な取り組みと成果】

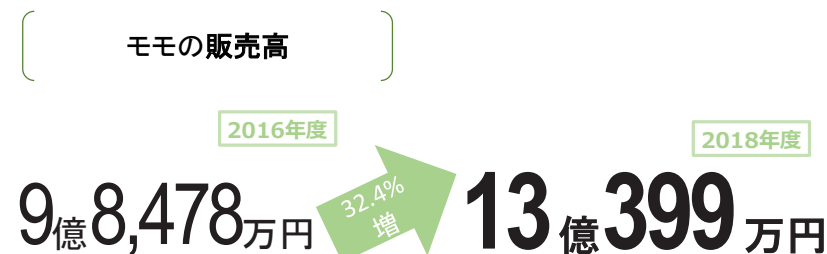
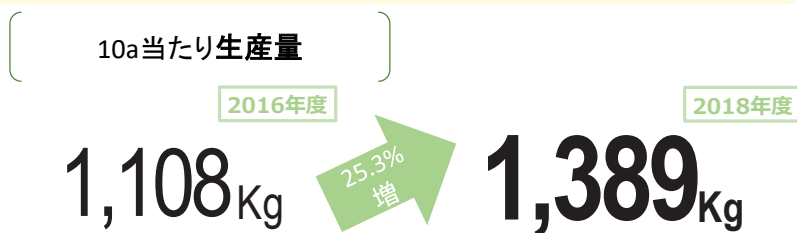
**生産拡大**に向けては、モモの有望品種である「なつっこ」「紅くにか」「夢みずき」などの早期産地化による地域ブランドの確立や、**早生・中生・晩生種**など多くの品種導入（13品種）による**長期・継続出荷体制の確立**によって市場への安定供給を実現しました。

その結果、部会の10aあたりの生産量は、2018年度は1,389kgとなり、2016年度の1,108kgに比べ281kg、25.3%増加しました。

**販売拡大**に向けては、2016年度に3つの共選所を統一し、**取扱量を増大**することで市場ニーズへの**確実な対応**を図るとともに、糖度センサーの導入や部会を通じた適熟収穫と収穫時間の統一徹底による**果実品質の高位平準化**に取り組みました。

その他にも、市場でのトップセールスや消費者PR活動等の販促活動に取り組んだ結果部会の販売額は、2016年度の9億8,478万円から、2018年度には13億399万円へと増加し、1Kg平均単価は、2016年度の633円から、2018年度には669円へと増加しました。

これらの取り組みにより、2016年度から2018年度にかけて、かのいわ中央共選所モモ出荷部会員**1戸当たり31.9%の所得増大を実現**しました。



（かのいわ中央共選所の選果風景）

